

「内保連」グリーンブック ver.1 の件

内保連では、内科系技術評価法の1つとして、入院基本料には包含が困難と考えられ、誰が見ても内科治療上極めて労力を要する26の重篤な急性疾患・病態の診療を抽出し、これを“特定内科診療”として現行診療報酬体系に位置づけることを目指し、内保連が一丸となってこれまで作業を続けて参りました。

内科系技術評価に関するこの取り組みを公表するにあたり、外保連試案にあわせて名称を内保連試案とすると、対象を網羅してコード化などで分類した上で算定評価を行うという外保連試案のアプローチを連想し、誤解を招きかねないので、内保連では、内保連グリーンブック ver.1として世に問うこととしました。

大変お待たせしましたが、内保連グリーンブック ver.1が上梓されました。

今後、さらに多角的な視点から内科系技術を調査・分析し、内科系技術を正當に評価していただけるように努力し、版を重ねて行きたいと思っております。

よろしくお願ひ申し上げます。

平成 25 年 12 月

内科系学会社会保険連合
代 表 工藤 翔二
副代表 小林 弘祐